

8月18日(火)
プログラム

理学の世界に飛び込め!

2026

大阪大学理学部 オープンキャンパス

総合受付 まずはこちら!

対面イベント予約者は、
まずはこちらで受付を済ませ、
資料を受け取ってください。

受付時間 10:00-15:30

受付場所 理学研究科A棟正面玄関
(P.6参照)

※ここで受付を行わないと建物内に入ることができません。

理学部見学会(対面イベント)

実施時間 10:00-16:00

定員 1,800名

(来場者1名につき、同伴者1名のみ)

※事前予約必須

各学科の研究室の場所は、理学部マップの「**研究室の
見つけ方**」(P.6)を参考にしてください。

リーフレットに記載されていない研究室には立ち入らないでください。

事前
予約要

同伴者
参加可

学科紹介+模擬授業、女子学生向け講演会(対面イベント)

実施時間 【女子学生向け講演会】 10:15-11:15

【学科紹介+模擬授業】 【生物科学科】 11:30-12:45 【数学科】 13:00-14:15

【物理学科】 14:30-15:45 【化学科】 16:00-17:15

※1つの学科につき、学科紹介+模擬授業+質疑応答含め、75分間を予定しております。

受付/実施場所 D棟5階D501

定員 各回150名

※事前予約が必須です。当日の飛び入り参加はできません。

※「学科紹介+模擬授業」は、同伴者参加不可

「女子学生向け講演会」は、同伴者参加可ですが、会場や申込の状況により、同伴者の方には配信会場へ
のご移動をお願いする場合がございます。

配信会場 D棟3階D303・D307、F棟2階F202

※自由席ですので、事前予約は必要ありません。また、同伴者も入室・視聴可能です。ただし、座席数には限りがあります。

※「オンラインイベント」は、来場できない方向けイベントのため、詳しくは理学部オープンキャンパスWebサイトをご確認ください。

事前
予約要

理学部オープンキャンパスの参加に関する注意事項



- 研究科棟内を移動するときは静かに歩いてください。
- このリーフレットを参考に、各学科イベントに参加してください。
- 飲料水の購入は、自動販売機、ローソンまたは売店をご利用ください。
- B棟3階B301・B302・B307とF棟2階F202(配信会場を兼ねる)は総合受付後に休憩室としてご利用いただけます。冷房を強めに設定しています。
- 参加するイベントを迷っている方は、まずは各学科案内にいきましょう。(P.6参照)
- 各学科のイベントの詳細は、各学科案内でご確認ください。
- 総合受付で配布されたリストバンドは**イベント参加中、必ず着用**ください。再入場の際等に必要です。

理学部見学会 (対面イベント)

- 全学科共通
- 数学科
- 物理学科
- 化学科
- 生物科学科

学部共通イベント			
イベント名	棟	場所	開催時間・内容
理学部 理数オナープログラム紹介	H棟	1階 コミュニケーション ホール	11:00-15:00 大学に入ったら学部生のうちから研究がしたい！ 研究への夢を実現させたい理系学生のためのプログラム「理数オナープログラム」をご紹介します。 ● 学生によるオナーセミナー紹介やミニ講義、実演実験などを開催。 ● 質問や相談も受け付けているので気軽に声をかけてくださいね。
学生による 豊中キャンパスツアー	F棟	1階F102	11:00-16:00(最終受付15:20) ● 先着順(各回約20名) ● およそ30分ごと出発 ● 所要時間30分程度 理学部の学生が図書館や食堂の場所を案内します！学生と直接お話ししながらキャンパス内の雰囲気を感じてみませんか。

数学科 イベント一覧			
イベント名	棟	場所	開催時間・内容
数学科案内 数学科相談コーナー 教員・大学院生の研究紹介	D棟	4階D403	10:00-13:00、14:00-16:00 数学科の教員や学生がみなさんの相談を受け付けます。授業等で使用する教科書の展示、研究に関する展示・解説も行います。オープンキャンパスの参加方法に迷った場合も、ここで尋ねてください。
大学数学演習体験		4階D407	10:00-13:00、14:00-16:00 大学の数学科目は講義科目と演習科目にわかれています。大学数学の実際の演習問題を使って、演習科目の雰囲気を体験していただきます。
数学図書室見学ツアー		4階D407付近	10:20出発、11:00出発、11:40出発、12:20出発、14:40出発(各回30分程度。出発時刻5分前にお集まりください) D407講義室付近に集合してから、E棟5階にある数学図書室まで一緒に移動します。古典的名著や、最新の研究成果が掲載された数学専門誌をお見せします。また、1934～1949年に当数学科が発行した週刊の小冊子「全国数学紙上談話会」など、他で見ることの難しい貴重な資料の現物もあります。

物理学科 研究室公開一覧				※公開時間はグループにより異なります。 各グループ説明欄の公開時間に注意 してください。
研究室名	棟	場所	研究室の簡単な説明(分野など)	
ナノスケール物性 (新見)グループ	H棟	地階 H001-003	ナノメートル、つまり10億分の1メートルの世界では、皆さんが高校で学んだ古典力学では説明できない現象がたくさん存在します。どのようにしてナノメートルの系を実現できるのか、またナノメートルの試料をどうやって測定するかを実際に実験室で見てもらいます。【研究室公開】(13時-16時)	
界面物性 (松野)グループ		1階H105	二つの異なる物質が接する境界である「界面」は単一の物質では実現できない豊かな物性の舞台です。原子レベルで制御された界面の設計・作製を通して、新物質開発・新規物性開拓を行っています。【研究室公開】(10時-13時)	
量子物質開発 (工藤)グループ		1階H114	電気抵抗ゼロの物質「超伝導体」を開発する研究を行っています。電力輸送に革命をもたらし得るだけでなく、医療、交通、コンピュータなど幅広い分野に応用が期待されているものです。超伝導体や実験装置などを公開いたします。【研究室公開】(10時-13時)	
強相関物性 (花咲)グループ		1階H123	私たちの研究室では、様々な元素を組み合わせで新しく面白い性質を示す物質の合成に取り組んでいます。当日は磁石を近づけると電気の流れやすさが変わる物質、温度差をつけると電圧が発生する物質、磁石の上で浮上して光を当てた方向に追従する物質などを公開する予定です。また、輝く美しい単結晶も御覧いただけます。【研究室公開】(13時-16時)	
先端質量分析 (豊田)グループ		3階H307	質量分析は、様々な分野で幅広く使われる分析手法です。当グループでは、独創的な質量分析装置を開発し、その特徴を活かした研究も行なっています。研究室を開放し、装置を見ていただきます。【研究室公開】(13時-16時)	
原子核実験 (川畑、板橋)グループ		4階H405	万物の基本的な構成単位は原子ですが、原子の性質を特徴づけているのは原子の中心にある原子核です。研究グループでは、加速器を使って人工的に不安定な原子核やハイパー核と呼ばれる自然界には存在しない原子核を作ったり、原子核内部で起こる超稀な現象を調べることで、原子核の性質を調べると共に、宇宙を構成する物質の起源を研究しています。【研究室公開】(10時-13時)	
素粒子実験 (青木)グループ		5階H503	素粒子物理学は、今そこにある素粒子の性質を研究することによって宇宙創成の謎を解き明かそうとする学問です。本研究グループは、ミュー粒子と呼ばれる身近な素粒子を使って実験的にこの問題に取り組んでいます。【研究室公開】(10時-13時)10:00-10:45、11:00-11:45、12:00-12:45の3スロットで説明します。	
素粒子実験 (南條)グループ		5階H503	なぜ宇宙には物質はあるが反物質はないのか。物質を形作る最小単位の素粒子になぜ質量があるのか。今知られている素粒子以外に、超対称粒子はあるのか。こうした根本的な素粒子の問題を、世界最高性能の加速器を用いて実験的に研究しています。【研究室公開】(13時-16時) 13:00-13:45、13:45-14:30、14:30-15:15、15:15-16:00の4スロットで説明します。	
固体電子論 (黒木)グループ		6階H616	物質の温度を低くすると電気抵抗がなくなる「超伝導」、熱を電気に変換する「熱電効果」について、どうしてこのような不思議な物理現象が起こるのか、より高性能な物質を作るにはどうすればよいか、という問題を、目に見えない「ミクロ」の世界から解き明かそうとしています。【研究室公開】(10時-13時)	
凝縮系量子計算 (竹森)グループ		6階H625	規則性を持ちながらも同じパターンを繰り返さない「準結晶」は、通常の周期結晶とは異なる独特な性質を示します。私たちの研究室では、このような非周期構造が生み出す物理現象を理論・数値計算の両面から研究し、量子計算技術も活用しながら、新たな機能をもつ物質の設計を目指しています。【研究室公開】(13時-16時)	
素粒子論 (兼村、大野木、西岡)グループ		7階H711	素粒子論研究室では、現代の素粒子物理学における諸問題を解決し、物理現象を統一的に記述する新理論の探求に取り組んでいます。ゲージ理論や場の量子論、超弦理論などを用いて、素粒子の基礎理論を研究し、宇宙を根本的なレベルで理解することを目指しています。【研究室公開】(13時-16時)	
先端強磁場科学 研究センター (萩原)グループ			先端強磁場 科学研究センター 超強磁場 第一実験施設 (極限科学研究棟)	超強磁場の世界では、通常は磁石で無い物質を磁石にしたり、超伝導状態を壊したりすることができます。当グループは、国内二施設しか有していない60万ガウス(60テスラ)以上の超強磁場発生が可能な実験装置を使用して、磁場印加によって現れる物質の新奇な性質を研究しています。【研究室公開】(10時-13時)

ソフトマター地球惑星科学 (桂木)グループ	F棟	2階F226	地球惑星表層の動的過程(地形形成・生命関連現象・環境問題等)や地球表層環境を構成する柔らかい物質(流体や粉体)の基礎物理特性の解明、応用技術開発等を目指した研究を行っています。比較的簡単な系でちょっと不思議な現象を作り出すソフトマターの世界を感じるデモをご覧ください。【研究室公開】粉体パターン形成デモなど(12時～14時)
生命惑星進化学 (松尾)グループ		2階F227	地球ではどのようにして生命がうまれたのか？宇宙のどこに生命がいるのか？惑星や衛星などさまざまな天体を見つめながら、天体の成り立ちやそこの生命の存在可能性を調べるために、シミュレーションや望遠鏡・探査機による観測、生物科学的な実験、観測機器の開発などに取り組んでいます。【研究室公開】研究内容展示やデモ実験など(10時～16時)【ミニ講演&実験室ツアー】(10:15、11:30、12:30、13:30)開始
赤外線天文学 (住)グループ		3階F303	最近多くの恒星が惑星を持っていることがわかってきました。このような太陽系外の惑星を重力マイクロレンズなどを利用して探査しています。【研究室公開】ミニ講演を繰り返し実施(13時～16時)
X線天文学 (松本)グループ		3階F313	天体が出すX線を観測して、宇宙の高エネルギー現象を解明しています。また、そのための技術開発も行っています。【研究室案内】(11:00、14:00、15:00)開始で、ミニ講演会とQ&Aを行います。レーザー宇宙物理学(佐野)グループと共同で行います。
レーザー宇宙物理学 (佐野)グループ		3階F313	大阪大学レーザー科学研究所(吹田キャンパス)にある大型レーザー装置を用いて、宇宙の極限プラズマ状態を地上に創り出し、実験的に天体現象を解明するユニークな研究をしています。【研究室案内】(11:00、14:00、15:00)開始で、ミニ講演会とQ&Aを行います。X線天文学(松本)グループと共同で行います。
理論鉱物物理学 (土屋)グループ		3階F327	私たちの研究室では、地球惑星内部のような極限環境下における物質のふるまいやその物性を、量子力学に基づいた理論や第一原理計算、分子動力学シミュレーションなどを用いて明らかにすることを目指しています。【研究室公開】研究紹介スライドや鉱物の展示など(13時～16時)【ミニ講演】14:00 にF327で開始
惑星科学 (寺田)グループ		4階F402	太陽系第3惑星「地球」は、いつ、どのようにして誕生したのでしょうか？ 私たちのグループでは、地球試料、隕石、アポロ月試料の同位体比測定や地球科学的物性研究から、元素の起源、太陽系初期形成史、地球型惑星の進化、惑星環境などについて調べています。【研究室公開】研究紹介ポスター展示、隕石展示、電子顕微鏡デモ実験など(10時～16時)
惑星内部物質学 (近藤)グループ	H棟	4階F424付近	地球や惑星の内部は地表とは全く異なる高温・高圧の世界になっています。これらの極限環境を実験室に再現し、地球物理学・固体物理学を基盤とした物質科学的研究を推進し、地球や惑星内部の構造・進化・ダイナミクスに応用しています。【研究室公開】研究内容展示・デモ実験など(10時～16時)
理論物質学 (波多野)グループ		5階廊下	地震発生の仕組みから河川やひび割れの模様に至るまで、身近だけどよく分かっていない自然現象を数値シミュレーションで解き明かします。【ビデオインスタレーション】(10時～16時)
宇宙進化 (長峯)グループ		6階F608	宇宙進化グループでは宇宙の成り立ちについて研究しています。【メンバーの研究内容に関するスライド展示】(10時～14時)【数名のメンバーによるショートトーク】来場者数に応じて複数回実施

物理学科 イベント一覧			
イベント名	棟	場所	開催時間・内容
物理学科案内	H棟	1階 玄関ホール	10:00-16:00 オープンキャンパスの参加方法に迷ったら、ここで尋ねてください。
なんでも相談		1階 玄関ホール	10:00-16:00
湯川秀樹博士の黒板と 南部陽一郎博士の研究室見学		7階 エレベータホール	13:30-16:00 ノーベル賞を受賞された湯川秀樹博士が使っていた黒板を触ったり、南部陽一郎博士が使用されていた研究室をのぞいてみましょう。 13:30出発、14:00出発、14:30出発、15:00出発、15:30出発の計5回。各回20分程度。各回最大10名。先着順。10名集まり次第、各回の募集は締め切ります。参加希望の方はH棟7階エレベータホールにお越しください。

化学科 研究室公開一覧				※公開時間はグループにより異なります。 各グループ説明欄の公開時間に注意 してください。
研究室名	棟	場所	研究室の簡単な説明(分野など)	
生物物理化学研究室 (水谷研)	B棟	1階 B111	タンパク質は生命活動の現場で働く分子です。その高効率かつ高選択的に機能するしくみを解明するとともに、高性能の原理を活用して新しい人工タンパク質を創っています。【研究室公開】(12時～14時)(14時～16時)	
生体分子化学研究室 (難波研)	c棟	2階 c243	生体分子化学研究室は天然由来の希少な有機化合物を試験管とフラスコの中だけで合成する研究を行っています。天然由来の化合物を化学的に合成する意義や合成した有機化合物がどのように社会の役に立つのかを紹介します。【研究室公開】(12時～14時)(14時～16時)	
高分子溶液化学研究室 (寺尾研)		4階 c447	高分子溶液の多彩な振る舞いを物理化学の視点から解明しています。最新の散乱法や分光法を駆使し、分子の形や自己組織化、相分離現象をナノレベルで定量的に紐解き、未知の機能発現メカニズムの解明を目指します。【研究室公開】(10時～12時)(12時～14時)	
錯体化学研究室 (吉成研)		5階 c543	金属イオンと有機物の反応で得られる化合物が金属錯体です。私たちは、2種類以上の金属イオンをもつ金属錯体の合成法を確立し、それらの化合物の特徴的な性質を明らかにする研究を展開しています。【研究室公開】(10時～12時)(12時～14時)	
吸着化学研究室 (上田研)	G棟	地階 G016	固体内に形成される微小な空間(ナノ空間)に閉じ込められた分子や分子集合体は、元の分子と異なる構造や性質、反応性を示します。ナノ空間への分子吸着現象を分子レベルで解明することに取り組んでいます。また、“空間”によって分子の並び方をコントロールすることで、様々な機能を持った材料の創製も目指しています。【研究室公開】(10時～12時)(12時～14時)	
物性物理化学研究室 (中澤研)		1階 G118	分子が集まってできた化合物中で起こる超伝導や磁石の性質を熱容量・熱伝導・磁気測定・電気伝導率測定などを用いて研究しています。主に液体窒素や液体ヘリウムを用いた低温での実験と15万ガウスまでの強磁場を用いた実験をしています。また、測定する試料の合成も行っています。【研究室公開】(10時～12時)(14時～16時)	
天然物有機化学研究室 (担当:下山准教授)		3階 G305	有機合成化学を基盤に、細菌由来糖脂質の免疫機能を分子レベルで解明するケミカルバイオロジー研究を展開し、免疫制御機構の理解とワクチンアジュバント開発を目指しています。【研究室公開】(12時～14時)(14時～16時)	
放射化学研究室 (笠松研)		5階 G513	放射化学研究室では、放射性物質を用いた化学研究を開拓しています。例えば、超重元素の溶液化学実験に向けた基礎実験、化合物によって放射壊変が変わるアクチノイド研究のための装置開発、それらを理解するための理論研究も進めています。【研究室公開】(10時～12時)(14時～16時)	
構造有機化学研究室 (久保研)		5階 G515	分子の中で電子やスピンのように振る舞うかを探り、新しい磁性・発光・電子機能をもつ有機分子材料の創製を目指しています。【研究室公開】(12時～14時)(14時～16時)	
高分子合成化学研究室 (寺島研)		6階 G602	高分子をコードする:我々は、構造や機能を高分子にプログラムする高分子合成化学の研究を進めています。精密重合と自己組織化を組み合わせ、高分子の分子構造と集合構造を共に制御する手法を開発し、環境に応答して動的に組織化する両親媒性ナノ会合体やナノ構造材料を創出しています。【研究室公開】(10時～12時)(14時～16時)	

高分子構造科学研究室 (今田研)	G棟	7階 G706ほか	生物の動きは、生体高分子でできた複雑な分子機械の働きにより駆動されます。細菌の運動器官であるべん毛は代表的な生体分子機械です。私たちは原子分解能の構造解析と分子機械の再構成を通じて、生体高分子機械の作動原理の基本的理解を目指しています。【研究室公開】(10時－12時)(12時－14時)
超分子機能化学研究室 (山口研)		7階 G棟コミュニケーションスペース (エレベーターホール)	私たちは「分子が分子を見分けるしくみ」をヒントに、生体高分子や合成高分子に分子認識素子を導入することで、光や化学物質などの刺激に応答して変形したり物性が変わるような材料や自己修復性・接着材料を作っています。【研究室公開】(10時－12時)(14時－16時)
熱・エントロピー科学 研究センター (中野研)		熱・エントロピー 科学研究セン ター1階玄関	「エントロピー」という言葉をもう習っていますか？エントロピーが増える変化は自発的に起こります。とくに温度が高いときには。また、エントロピーの増減からそのときの分子の状態がわかります。液体窒素温度での物質のガラス状態のデモ実験をやっています。通りがかりに見ていきませんか？【研究室公開】(10時－12時)(12時－14時)
化学科 イベント一覧			
イベント名	棟	場所	開催時間・内容
化学科案内	G棟	1階玄関	10:00-16:00 オープンキャンパス・化学科研究室公開の参加方法に迷ったら、ここで尋ねてください。
化学科資料展示		1階G103	10:00-16:00 大学の教科書・大学生の時間割・研究資料等を公開展示します。

生物科学科 研究室紹介一覧 時間：10:00-16:00			
生物科学科では、15の研究室がb棟2階の「生物学生実験室」と B202 にて、大学生・大学院生・教授陣が集まって、学生生活から世界レベルの研究内容まで、何でも紹介します！			
研究室名	棟	場所	研究室の簡単な説明(分野など)
染色体構造機能学研究室 (小布施研)	理学部 b棟2階 生物学生 実験室	および B棟2階 B202	発生や分化、環境、刺激に応じて遺伝情報が巧妙に制御される仕組みを、プロテオミクスやゲノミクスといった技術を取り入れて、哺乳動物を用いて研究しています。
細胞構築学研究室 (昆研)			細胞内物質輸送とロジスティクスの分子機構を、原子レベルの構造解析と1分子レベルの機能解析の両面からのアプローチにより明らかにすることを目指しています。
1分子生物学研究室 (上田研)			先端の1分子イメージング技術と理論・数理モデル解析を組み合わせることにより、細胞における様々な生命現象の動作原理を1分子粒度の解像度で解明することを目指しています。
動物形態学研究室 (古屋研)			生物の多様な形のもつ意味について、ニハイチュウ(二胚動物門)という多細胞動物を材料とし、生活環境、構造、発生、生物間相互作用、ゲノム、進化の観点から総合的に研究を進めています。
細胞生命科学研究室 (石原研)			生きた細胞の中で、ミトコンドリアは活発に動いています。私達は、哺乳動物細胞のミトコンドリアの分裂と融合、またミトコンドリア内の遺伝子の動きに着目して研究を進めています。
RNA生体機能研究室 (廣瀬研)			ゲノムの大部分を占める非コード領域から産生されるノンコーディングRNAの遺伝暗号ルールや生体機能について、基盤的な分子・細胞生物学研究に生物物理学や情報科学などの手法を取り込んで研究を進めています。
比較神経生物学研究室 (志賀研)			昆虫や巻貝を実験室で飼育し、脳が概日時計を使って季節を読む光周性、2日ごとの活動時間を決める概倍日リズムなど、動物が時間を知り行動を決定するしくみについて研究しています。
植物細胞運命制御研究室 (近藤研)			動くことのできない植物は、変動する外環境に適応する術を発達させてきました。このような生き様を理解するために、シロイヌナズナなどを用いて細胞運命を操作するというアプローチから研究しています。
器官形態制御学研究室 (進藤研)			アフリカツメガエルの卵を使って、動物の臓器や体の「形」ができる仕組みを明らかにする研究しています。環境が体の作り方を操作しうるのかを知るために、餌を変えて細胞を観たり、オタマジャクシを押したり曲げたりしています。
分子遺伝学研究室 (中川研)			転座などの染色体異常は、がんなどの病気の原因になります。その一方、進化の原動力ともなり得る重要な生命現象です。われわれは、分裂酵母を用いて染色体異常の発生メカニズムについて研究しています。
植物生理学研究室 (嶋川研)	植物や藻類は、太陽の光を使って空気中の二酸化炭素から栄養を作り出しています。私たちの研究室では、その“光合成”の仕組みを詳しく調べながら、生き物ごとに異なる“光の使い方”や“環境への適応戦略”を解き明かしています。		
分子動態生化学研究室 (松尾研)	翻訳は、遺伝子発現の終着点として、mRNAの遺伝情報を蛋白質へと変換する生命の根幹のプロセスです。私たちは、翻訳によって生み出される新生蛋白質が成熟し、細胞内で正しく機能するまでの動的な分子機構の解明に挑んでいます。		
学際・生命機能・生物科学グループ			細胞の増殖、運命決定、発生、組織形成、体内時計など生物の重要な仕組みについて、分子、細胞、個体の各レベルで少人数グループによる重点的な研究を進めています。
生物科学科 イベント一覧			
イベント名	棟	場所	開催時間・内容
生物科学科案内	b棟	理学部 2階 生物学生 実験室	10:00-16:00 オープンキャンパスの参加方法に迷ったら、ここで尋ねてください。
学生による研究紹介と 学生生活相談			10:00-16:00 生物科学科の研究室が集まって、大学生、大学院生が学生生活から世界レベルの研究内容まで、何でも紹介します！
教員による何でもQ&A			11:00-15:00 教授や准教授がどんな質問にも答えます！

対面会場:D棟5階D501	配信会場:D棟3階D303、D307、F棟2階F202	※「オンラインイベント」は、来場できない方向けイベントのため、詳しくは理学部オープンキャンパスWebサイトをご確認ください。
---------------	-----------------------------	--

女子学生向け講演会(対面イベント)	
要予約	同伴者参加可
配信会場あり	
女子学生向け講演会・相談会	
時 間	10:15-11:15
講 師	化学科 松宮 由実 教授
講 演 題 目	「やわらかい」から考える理学の世界― 物質のかたち、研究者の仕事、自分らしい生き方 ―
講 演 概 要	身のまわりには、固体のように形を保ったり、液体のように流れたりする「やわらかい物質」がたくさんあります。本講演では、高分子やソフトマターの変形・流動を調べるレオロジーという研究分野について、身近な例を交えながら紹介します。また、私自身が理系の道に進み、研究者として仕事を続けてきた経験についてもお話します。進学、研究、大学教員の仕事、日々の生活との向き合い方などを、一つの例としてお伝えできればと思います。理系に進むこと、研究者になること、働くこと、暮らすことに、決まった形があるわけではありません。いろいろな「型」やモデルケースに出会ったとき、それが自分に合うなら入ってみればよいし、合わないなら無理に自分を押し込める必要はありません。常識を疑い、自分に合う形を探すことも、理学の大切な出発点だと思います。

学科紹介＋模擬授業(対面イベント)	
要予約	同伴者参加不可
配信会場あり	
生物科学科	
時 間	11:30-12:45
講 師	【学科紹介】生物科学科長 進藤 麻子 教授、【模擬授業】生物科学科 近藤 侑貴 教授
模 擬 授 業 題 目	植物細胞の進路選択
模 擬 授 業 概 要	植物の体はさまざまな種類の細胞から成り立っています。なかでも水や養分などを運ぶ維管束は道管や師管といった管で構成され、これらは維管束の幹細胞から生み出されます。この模擬授業では、葉の細胞から維管束の細胞を作り出すことのできる実験系(VISUAL)を使って、幹細胞がどのように自身の「進路」を決めていくのかを、顕微鏡画像・動画を交えてお話します。維管束細胞が生み出されるしくみを、一緒に考えてみましょう。
数学科	
時 間	13:00-14:15
講 師	【学科紹介】数学科長 鎌田 聖一 教授、【模擬授業】数学科 橋本 伊都子 准教授
模 擬 授 業 題 目	微分方程式で見る身の回りの現象
模 擬 授 業 概 要	微分方程式は、「時間とともにどのように変化するか」を記述する数学です。高校数学ではあまり扱われませんが、自然現象や社会現象を理解するための重要な道具として広く用いられています。本講義では、まず放射性元素の崩壊を表す最も簡単な微分方程式を紹介し、それが美術品の真贋判定などにも応用されていることを説明します。さらに、流体の運動を表すナビエーストークス方程式についても触れます。この方程式は水や空気の流れを記述するもので、現在でも未解決問題を含む重要な研究対象となっています。数学がどのように現実世界を記述しているのかを、一緒に見てみましょう。

物理学科	
時 間	14:30-15:45
講 師	【学科紹介】物理学科長 松野 丈夫 教授、【模擬授業】物理学科 桂木 洋光 教授
模 擬 授 業 題 目	全ては衝突の帰結:ホコリと天体地形をつなぐ物理
模 擬 授 業 概 要	我々の日常生活は衝突現象に常に左右されています。歩くという行為は一步一步が地球との衝突ですし、野球選手によるボールとバットの衝突結果に一喜一憂させられたりもします。この衝突現象の物理は、日常生活から惑星形成・天体地形まで、幅広い現象を理解する鍵になります。具体的には、我々の身の回りでは小さなチリが衝突合体を繰り返してホコリを作りますが、惑星形成の初期段階でも似たような現象が起きていると考えられています。また、月や火星を眺めると衝突によって形成されたクレーターをたくさん確認することができます。衝突の帰結を司る物理を理解すると、いろいろなシーンで現象をめでののが楽しくなります。そんな衝突の世界を紹介したいと思います。

化学科	
時 間	16:00-17:15
講 師	【学科紹介／模擬授業】化学科長 笠松 良崇 教授
模 擬 授 業 題 目	元素と周期表
模 擬 授 業 概 要	原子、元素とは何か？その成り立ちや性質を人類がどのように発見、研究してきたのか、高校で学ぶ知識との関わりと共に紹介したいと思います。様々な元素の性質とその性質が示す周期性によって作成された周期表、そしてそれら元素によって作られる身の回りの物質を対象とした無機化学という研究分野についてお話をします。

総合受付 10:00-15:30
@A 棟正面玄関

参加方法に迷った時、各学科への質問がある時は、
各学科案内窓口にお越しください。

数学科案内
10:00-13:00 14:00-16:00
@D 棟 4 階

物理学科案内
10:00-16:00 @H 棟 1 階

化学学科案内
10:00-16:00 @G 棟 1 階

生物科学案内
10:00-16:00 @b 棟 2 階

10:00~14:00
中野研究室(化学科)
熱・エントロピー
科学研究センター

理学部マップ

エレベーター

緊急時避難場所

出入口

各階に
自動販売機があります。
ご利用ください。

南部図書
ノーベル物理学賞受賞者の
南部陽一郎先生が
生前使われていた部屋
(理学部4棟7階F22)に
奇蹟図書が展示されて
います。
※廊下からの閲覧のみ

湯川黒板
理学部4棟7階
コミュニケーションホールに
ノーベル物理学賞受賞者の
湯川秀樹博士の黒板が
設置されています。

フーコーの振り子
理学部1階ホールに
設置されています。
地球の自転を
体感できます。

研究室の見つけ方
イベントプログラム詳細の場所に記載さ
れているアルファベット+3桁の数字が研
究室の部屋番号です。
先頭のアルファベットが研究科棟、アルファ
ベットの次の数字が階を表しています。
例) A115 A棟1階
部屋番号は研究室の
扉の上部にあります。
小さいので見逃しや
すいですが、研究科棟
を散策しながらお目当
ての研究室を探して
みてください。

理学部総合受付
(A棟正面玄関)

場所は右ページの
豊中キャンパスマップ
で確認してください。

豊中キャンパスマップ

▲ 出入口 ▲ エレベーター ▲ 食堂・喫茶
郵便ポスト 身障者トイレ 売店
休憩室 緊急時避難場所

総合受付 10:00-15:30
@A 棟正面玄関

参加方法に迷った時、各学科への質問がある時は、
各学科案内窓口にお越しください。

数学科案内
10:00-13:00 14:00-16:00
@D 棟 4 階

物理学科案内
10:00-16:00 @H 棟 1 階

化学学科案内
10:00-16:00 @G 棟 1 階

生物科学案内
10:00-16:00 @b 棟 2 階

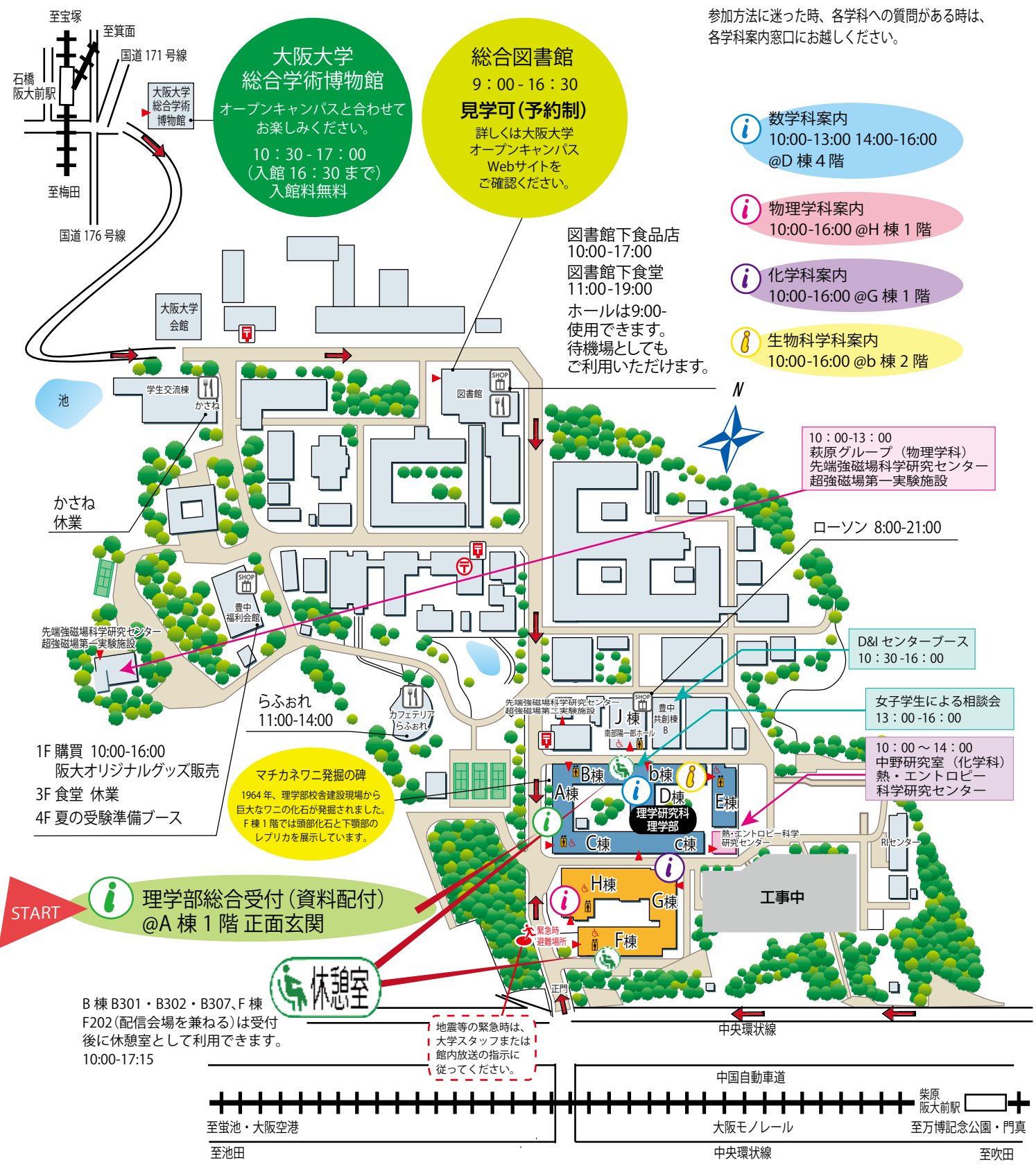
10:00-13:00
萩原グループ(物理学科)
先端強磁場科学研究センター
超強磁場第一実験施設

ローソン 8:00-21:00

D&I センターブース
10:30-16:00

女子学生による相談会
13:00-16:00

10:00~14:00
中野研究室(化学科)
熱・エントロピー
科学研究センター

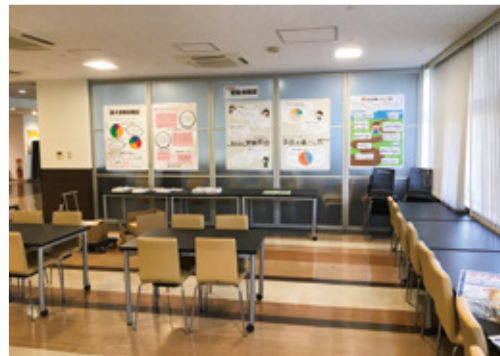
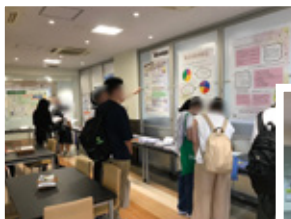


夏の受験準備ブース@豊中キャンパス福利会館4階

10:00-17:00(事前予約不要)

大阪大学に合格した先輩たちの受験体験談や下宿を検討されている方向けに
お部屋探しの掲示や受験生向けパンフレット、冊子を設置しています。
現役阪大生がみなさんの相談に答える相談会スペースも設けています。
ぜひ、理学部オープンキャンパス見学後に足を運んでみてください。

場所は
豊中キャンパスマップを
参考にしてください。



※写真は昨年の様子です



D&Iセンター Presents「向いてないかも」を、手放そう

～未来の選択肢が、ひろがる日～ (事前予約不要)

大阪大学には、学生の皆さんが自分らしく学べる環境づくりを進める
ダイバーシティ&インクルージョン(D&Iセンター)があります。本ブース
では一人ひとりの可能性を広げるための様々な取組を紹介しています。

※予約不要、保護者様也大歓迎です!

●DE&Iの取組紹介(SOGI多様性尊重の取組、入学支援金制度など)

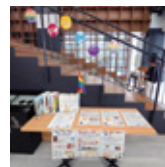
ライブラリーコーナー(多様な価値観に触れられる漫画、書籍など)

10:30～16:00 豊中共創棟B 1・2F

〈来場者には、特製ワニ博士ARフレーム等、限定グッズをプレゼント!〉

●女子学生による相談会(先輩に直接話を聞いてみよう!)

13:00～16:00 理学研究科B棟3階B308



理学研究科・理学部ホームページ

大阪大学理学部・理学研究科の
教育プログラムや研究活動を紹介しています。
科学や学生生活に関する Q&A も是非ご覧ください。

<https://www.sci.osaka-u.ac.jp>



公式 X (旧 Twitter)

https://x.com/Science_OU



公式 Facebook

<https://www.facebook.com/Science.OsakaUniversity/>



大阪大学理学部・理学研究科の
最新情報を発信しています。

大阪大学理学部・理学研究科

大阪大学理学部・理学研究科ファミリーのための
コミュニティ。受験生、保護者の方も歓迎します!
部員登録はホームページから。

<https://rigakuyu.sci.osaka-u.ac.jp>



大阪大学理学部・理学研究科

THE UNIVERSITY OF OSAKA
School of Science, Graduate School of Science

企画・編集：大阪大学理学部オープンキャンパス小委員会 / 学務係 2026年8月18日発行
〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 Tel: 06-6850-6111 (代表)
<https://www.sci.osaka-u.ac.jp>